

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
I	1	(1)	①	理念が明文化されている。	a	法人・園の保育理念は明文化されており、ホームページやパンフレット、園内にも掲示され、園の実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた園の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
I	1	(1)	②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	理念と共に基本方針が文書化され、おたより、パンフレット等に記載され、保護者等に配布されている。園のしおりも各クラスに貼ってあり、職員も使命や役割を反映させている。
I	1	(2)	①	理念や基本方針が職員に周知されている。	b	保育室等に掲示され、毎月の園内研修時配プリント等配布し話し合い職員間で理解図っている。より、理念や基本方針の周知を目的とした実践テーマを設定し、会議等で討議の上で継続的に取り組んでいただきたい。
I	1	(2)	②	理念や基本方針が保護者等に周知されている。	c	ホームページやパンフレット等に掲載され、入所前説明会で説明され、保護者等に周知を図っている。地域住民や関係機関等にも配布し積極的に周知を図る取り組みが期待される。
I	2	(1)	①	中・長期計画が策定されている。	b	中・長期計画や事業計画は職員等の参画する会議で策定され、新年度に園全体で年間計画の見直しを行っている。更に、職員体制、人材育成等園の目標を明確にし実行されることが期待される。
I	2	(1)	②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b	中・長期計画が具体的に策定されており、一部の職員に限らず職員等の参画する会議等の場で策定されている。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
I	2	(2)	①	中・長期計画や事業計画の策定が組織的に行われている。	b	事業計画に理念や基本方針の実現に向けた目標になる様反映されている。更に、事業計画が行事計画にならぬ様、実施状況の評価を行えるよう配慮が望まれる。
I	2	(2)	②	事業計画が職員に周知されている。	b	事業計画は、職員会議で職員に説明され取り組み等についても話し合いが行われている。新事業等はめる際には、計画内容や経過等を説明されている。
I	2	(2)	③	事業計画が保護者等に周知されている。	a	年度開始時に園のホームページにも掲示し、保護者へ園日より、クラス便り等配布し保護者への周知に取り組んでいる。現在建築中の新園舎の名前は、父兄にアンケートを取り決定したことを踏まえ、保護者も参画されている。
I	3	(1)	①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b	管理者は、自らの役割と責任について文書化されおり、会議や研修においても伝えている。保護者等からの評価、見直しをする方法等今後の課題として検討が望まれる。
I	3	(1)	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b	管理者は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加し、リスト化等には、福祉分野に限らず、消費関連法令や雇用・労働や防災、環境への配慮に関するものについても含めての取り組みが期待される。
I	3	(2)	①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	会議・研修において業務効率化や人事に対して日頃から改善に向けた取り組みの実現に向け考察し具体的に取り組んでいる。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
I	3	(2)	②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	会議・研修において業務効率化や人事に対して日頃から改善に向けた取り組みの実現に向け考察し具体的に取り組んでいる。
II	1	(1)	①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	子どもの人数・世帯数、家庭環境の把握等について常に意識し、地域の特徴・変化に応じ取り組んでいる。
II	1	(1)	②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	b	定期的にサービスのコスト分析や園児の推移等について定期的に分析を行っている。改善に向けた課題については、職員間で周知されている。
II	1	(1)	③	公認会計士等による外部監査が実施されている。	b	公認会計士等による外部評価を実施され、指導や指摘事項に基づいて経営改善を実施している。
II	2	(1)	①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a	法で決められた配置数よりも、実際には余裕ある人員配置を行い、一人ひとりをきちんと見られる保育士の配置が行われている。
II	2	(1)	②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	個別面談を行い、評価者として客観的な評価の透明性の確保がされている。人事考課の目的や効果の理解のもと定期的な実施が望まれる。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅱ	2	(2)	①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	職員の就業状況や有給休暇の消化率、時間外労働のデータを定期的に分析し把握している。職員等との個別面談を行い、職員が話しやすい環境づくりに取り組んでいる。
Ⅱ	2	(2)	②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	b	職員の健康管理を考えた総合病院での(胃カメラ等)も積極的に進め、職員一人ひとりについて基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され負担を担っている。より、余暇活動の充実や生活利便性の向上等の各種ニーズに応じた福利厚生に対する取り組みを期待される。
Ⅱ	2	(3)	①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b	個別の教育・研修計画に沿った成果をレポートや発表する機会を設けて評価・分析を行っている。その結果を踏まえて次の研修計画に反映し、見直している。
Ⅱ	2	(3)	②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	職員一人ひとりについて基本姿勢に沿った教育・研修計画がさくといされている。職員個々の希望の研修ではなく、組織として、教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが望まれる。
Ⅱ	2	(3)	③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	研修終了後は、報告レポートの提出、園内研修時にレポートの発表する機会を設けて行っている。その結果を踏まえて次の研修計画に反映されている。今後は研修成果の評価が定期的に行われることが期待される。
Ⅱ	2	(4)	①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	b	実習生に受け入れ等は、担当者がおり積極的に行っている。実習生の受け入れに関する基本姿勢を明文化し、体制を整備している。今後は、保育所独自のカリキュラム等の検討が期待される。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅱ	2	(4)	②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	b	保育士養成校側の意向に沿い、実習内容について連携し整備されている。 今後、園側のプログラムや実習の効果を上げるプログラムを用意する等、育成に取り組んでいただきたい。
Ⅱ	3	(1)	①	緊急時(事故, 感染症の発生時など)の対応など子どもの安全確保のための体制が整備されている。	a	管理者は、子どもの安全確保の取り組みについてリーダーシップを発揮している。マニュアルは各クラスに配布され、子どもの安全確保に関して担当者・担当部署が決められている。担当者を中心に定期的に安全確保に関する検討会を開催している。
Ⅱ	3	(1)	②	子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a	防犯カメラは3台設置され、何時でも事務室にて見れるようになっている。職員の参画のもと、子どもの安全の未然防止策を検討している。事故防止のためのチェックリスト等があり活用している。ヒヤリハットの報告書の利用があり、研修記録に文書化されている。
Ⅱ	4	(1)	①	子どもと地域とのかかわりを大切にしている。	b	住宅地でお年寄りがいない地域なので、子ども達が地域に出かける出張保育や老人施設等への訪問を通して、地域とのかかわりを設けている。
Ⅱ	4	(1)	②	保育所が有する機能を地域に還元している。	a	隣接する子ども子育て支援センターと連携を取り、子育てで悩んでいる方へのアドバイスやプール等の提供や毎週水曜日は園庭開放日になっており、地域に提供している。ホームページや市の運営するアプリやホームページにも載せ広報している。
Ⅱ	4	(1)	③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	ボランティア受け入れに関する意義・方針を会議等で職員と共有し、体制は整っているが、マニュアルの整備までには至っていない。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅱ	4	(2)	①	必要な社会資源を明確にしている。	b	個々の利用者の状況に対応できる社会資源を明示し、関係機関・団体との連携を含めたリストや資料を作成して掲示している。
Ⅱ	4	(2)	②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a	医療機関・児童相談所・民生委員・児童委員・自治会等の関係機関と定期的に連絡会を行っている。虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所等、関係機関との連携が適切に行われている。
Ⅱ	4	(3)	①	地域の福祉・子育てニーズを把握している。	b	社会の変化やライフスタイルの変化により多様な子育てニーズを把握している。地域の小中学校、高校生などの職場体験やインターンシップなども積極的に受け入れ交流を密にしている。
Ⅱ	4	(3)	②	地域の福祉・子育てニーズに基づく事業・活動が行われている。	b	理念・基本方針に一人ひとりの子どもを尊重した保育の実施について明示され、組織で勉強会・研修に反映している。
Ⅲ	1	(1)	①	子どもを尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a	理念・基本方針に一人ひとりの子どもを尊重した保育の実施について明示され、組織で勉強会・研修に反映している。
Ⅲ	1	(1)	②	子どものプライバシー保護に関する規程又はマニュアル等を整備している。	b	子どものプライバシー保護については、職員の共通理解が出来ているがこれからマニュアルを整備される。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅲ	1	(2)	①	保護者の満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a	保護者の意向に配慮する姿勢を明示した文書があり、個別の相談面接・懇談会を定期的に行っている。連絡ノートとのかかり、いつでも相談できるような雰囲気づくりに努めている。
Ⅲ	1	(2)	②	保護者の満足の向上に向けた取り組みを行っている。	b	保護者の満足の向上にむけ、保護者会からの役員会等の協力のもと、行事がある時は意見の交換を行っている。
Ⅲ	1	(3)	①	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b	保護者が、複数の相談方法や相談相手の中から自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。相談や意見を述べやすいようなスペースに配慮している。
Ⅲ	1	(3)	②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b	苦情解決の体制が整備されている。苦情への検討内容を、保護者や家族等にフィードバックする体制が整っている。そして、苦情内容及び解決結果等を公表している。
Ⅲ	1	(3)	③	保護者からの意見等に対して迅速に対応している。	b	苦情や意見等を保育の改善に反映させているが対応マニュアルの定期的な見直しを行っている。保護者からの意見等については、対応するのに時間がかかるのもあるが、園長を中心に職員で話し合い迅速な対応をとっている。
Ⅲ	2	(1)	①	保育サービスについて定期的に評価を行う体制を整備している。	b	保育サービスについて年一回以上園独自であるが自己評価を行う体制を整備している。評価に関して担当者・担当部署が設置されていて、PDCAサイクルにより保育の質の向上や改善のための取り組みをしている。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅲ	2	(1)	②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b	評価後の振り返り、分析を行い今後活かせるよう研修会等で共通理解している。評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。
Ⅲ	2	(1)	③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b	改善策や改善計画の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じ計画の見直しお行っている。評価結果から明確になった課題について職員の参画のもとに改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
Ⅲ	2	(2)	①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a	個々の保育場面について標準的な実施方法が文書化されている。保育のマニュアルは、年度末前に手順・振り返りをし、新しく見直されている。
Ⅲ	2	(2)	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	サービスの標準的な実施方法の見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。見直しのあたり、職員や利用者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ	2	(3)	①	子どもに関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	子ども一人ひとりの記録等の書面が整備されている。指導計画に基づくサービスが実施されていることを記録より確認することができる。
Ⅲ	2	(3)	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	子どもの記録の保管・保存・廃棄に関する規定を定めている。守秘義務の遵守を職員は周知している。記録管理の責任者が設置され、苦情に関して開示する範囲を規定している。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅲ	2	(3)	③	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	クラス便りを発行し情報を公開している。情報の流れが明確にされ、必要な情報が的確に届くような仕組みが整備され、職員間で共有化している。
Ⅲ	3	(1)	①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a	インターネットを利用して組織を紹介したホームページを作成し公開している。紹介する資料は、やさしい言葉遣いや写真・図・絵を用い誰にでもわかるような内容にしている。
Ⅲ	3	(1)	②	サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。	a	入園説明会や年一度の保護者会等で説明し、同意を得ている。説明にあたっては、保育サービスや料金等が具体的に記載された説明資料等を保護者に説明している。
Ⅲ	3	(2)	①	保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b	保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。保育が終了した後も組織として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
Ⅲ	4	(1)	①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b	身体測定、内科、歯科検診を定期的に行い、視診は毎月行っている。アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている。
Ⅲ	4	(1)	②	子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	b	子ども一人ひとりのニーズや課題を明示するための手続きが決められ、明示されている。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅲ	4	(2)	①	サービス実施計画を適切に策定している。	b	子ども一人ひとりの特性に応じた保育を行うために子どもの発達の視点に立ち、総合的な視点から一人ひとりの指導計画を策定している。
Ⅲ	4	(2)	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行なっている。	b	指導計画の見直しについて見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの発達段階に応じて指導し保育することに取り組んでいる。
Ⅳ	1	(1)	①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	子ども達が快適に過ごせるよう採光・換気・温度・湿度等配慮している。手洗い場・トイレは、保育中も時折り清掃し不快なおいがないようにしている。
Ⅳ	1	(1)	②	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a	一緒に遊んだり触れ合ったりしながら、不安にならないよういつでも保育者が身近にいるよう配慮している。お昼寝時は、オルゴールを流し、雰囲気作りに取り組んでいる。
Ⅳ	2	(1)	①	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	食事をする部屋の雰囲気づくりに配慮し、楽しく食べられるように、個人差や食欲に応じて量を加減できるように工夫している。
Ⅳ	2	(1)	②	日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	a	給食だよりは、月末に配布されている。給食のサンプルを提示され、その日の献立や量を保護者に一目でわかるよう工夫されている。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
IV	2	(1)	③	専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	a	職員全員で配慮し、必要な知識や情報を周知され、十分対応している。医師の指示のもと、子どもの状況に応じ対応している。
IV	2	(1)	④	必要とされる栄養摂取量を確保する献立が作成されている。	a	栄養士、管理栄養士がおり、毎月末に献立表を配布し、栄養摂取量を確保する献立が作成されている。
IV	2	(1)	⑤	「食育」に取り組んでいる。	b	栄養士、管理栄養士のもと「食育」の研修会開催、積極的に参加し、職員間で共通理解し、協力体制ができている。栄養士、管理栄養士がおり、今後は、保護者等にも食育についての取り組みが期待される。
IV	2	(2)	①	登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	a	登園時に子どもの様子を伺い、体調変化を見極め、一日元気に過ごせるように気をつけている。体調が悪くなった時は、直ちに家族等に連絡をし、状況を知らせ、迎えに来てもらうよう実施している。
IV	2	(2)	②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a	保育園へ入所の前に健康診断を行うことになっている。結果について保護者や職員に伝達し、保育に有効に反映させている。異常があればその都度保護者に報告し、職員間でも周知している。
IV	3	(1)	①	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	a	子どもにわかりやすい温かな言葉づかいで、おだやかに話し接している。入室時には挨拶や声かけを必ず行い、子どもや保護者に安心感を持たせ信頼関係を築いている。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
IV	3	(1)	②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	a	一人ひとりの子どものリズムを大切にしながら、気持ちよく生活ができるように声かけ等を行っている。
IV	3	(1)	③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a	各クラスに子ども達の発達に応じたおもちゃがあり、楽しんでいる。自由に広いテラスを使った遊びも自ら行っている。
IV	3	(1)	④	身近な自然や社会と関わられるような取り組みがされている。	b	散歩を通して動植物に接し、地域の公園や児童館等を利用し楽しんでいる。
IV	3	(1)	⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	b	空手、音楽、英語と、さまざまな表現活動を通して、子ども達の個性を大切に、自由でのびのびとした保育に取り組んでいる。
IV	3	(1)	⑥	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	a	遊びや生活を通して、子ども同士の関係をより良くなるように先生たちの適切な言葉かけを行っている。当番さんはやや緊張気味ではあるが、しっかり大きな声で役割を果たしておりました。
IV	3	(1)	⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a	子どもの気持ちを尊重し、気持ちに寄り添うように心掛けています。子どもが仲良く遊べるような工夫をしていく。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
IV	3	(1)	⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a	安全に注意し、男の子・女の子も一緒に遊び、先入観にとられないよう配慮している。
IV	3	(1)	⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	クラスに入る時は、乳児が安心できるよう心掛けている。離乳食等は、一人ひとり個人差があるので家庭と連絡を取りながら配慮している。
IV	3	(1)	⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	一人ひとりの子どもの要求に応じた保育を行い、抱いたり、お話したり、ゆったりとした保育に配慮している。
IV	3	(1)	⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b	入園者にはいないが、園内研修で障害児保育についての勉強会を行い、研修にも参加している。
IV	4	(1)	①	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a	園全体で行い、保護者の家庭状況を把握し、職員も周知して保育に活かしている。送迎時の対応は、丁寧に接している。連絡帳に相談事があれば記入している。
IV	4	(1)	②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a	日誌の個別欄に記入し、個別面談の内容等は必ず記録し、必要な内容については文章にして、職員全員で把握できるように対応している。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
IV	4	(1)	③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a	年間行事予定を配布し、行事に参加して子どもの様子を見ていただき、保護者の方に理解や協力をしてもらいより良い子育てを共に行う。個人面談・保護者会・クラス懇談会等から保護者と共通理解を得る機会を設けている。
IV	4	(1)	④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに施設長まで届く体制になっている。	a	一人ひとりの子どもの様子を観察し顔・身体に変化がないか配慮している。虐待の疑いがある時には担任一人で対応しないで 園長・主任保育士に報告する体制になっている。 比較的虐待を早期発見しやすい面があるので、子どもの言動など職員間の共有をさらに深めていただきたい。
IV	4	(1)	⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a	虐待通告は、クラス担任の発見から、施設長に報告する体制、行政・児童相談所・警察へ通告する体制が整って連携ができています。
IV	5	(1)	①	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	b	保護者ともコミュニケーションを取り、通常保育の子どもとの交流に配慮して、通常保育との子どもと同じように接している。
IV	6	(1)	①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a	マニュアルに基づいて、調理場・水回りの衛生管理が厳重にされている。衛生管理マニュアルもあり職員にも周知されている。